

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成30年6月25日

計画の名称	良好な水循環の再生・保全と安全・安心なサービスの提供					重点配分対象計画の該当						
計画の期間	平成28年度（1年間）		交付対象	豊田市								
計画の目標	下水道整備を行うことにより、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。											
計画の成果目標（定量的指標）	①下水道整備面積のうち、重点事業を除いた面積を 0.0%(H27末)から100.0%(H28末)に増加させる。 ②下水熱利用施設整備率を0%(H27末)から100%(H28末)に増加させる。											
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値					備考	
						当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (H28末)			上段（赤）：実績 下段（黒）：計画	
①重点事業外の下水道整備面積率 重点事業地区外のうち1年間（H28末）で下水道整備する面積（ha）／重点事業地区外（10年間）で下水道整備する面積（ha）×100						0.0%		100.0%				
②下水熱利用のための施設整備率 下水熱利用施設（箇所）／下水熱利用施設（箇所）						0.0%		100.0%				
0.0%						0.0%		100.0%				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	267百万円 267百万円	A	267百万円 267百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	平成30年6月
豊田市社会資本総合整備計画事後評価委員会により評価を実施	公表の方法
	豊田市ホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H28	H29	H30	H31	H32		
特環																	
2-A-3	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	分流	新設	管渠整備事業(未普及箇所)	汚水管 φ75~300mm L=3,253m	豊田市						248 253	2-A-13へ移行
その他																	
2-A-4	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	分流	新設	下水熱利用のための施設整備	熱利用管L=210m	豊田市						19 14	新世代
合計													267 267				
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31	H32			
合計													0				
C 効果促進事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31	H32			
合計													0				
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31	H32			
合計													0				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・下水道管路整備の実施により、周辺水域の水質は改善され、良好な水環境の保全に下水道が寄与した。 ・下水熱利用のための施設整備により、資源の有効化に加え、CO2の削減が図れた。									
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道整備率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り下水道面整備工事を実施し、目標値を達成することができた。						
		最終実績値	100.0%								
	指標②下水熱利用のための施設整備率	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値	100.0%								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		特になし									

3. 特記事項（今後の方針等）

・本社会資本整備計画については円滑に事業が進み、目標を達成することができた。 ・管渠整備事業（足助処理区）については、平成29年度から重点事業地区に位置付け、引き続き事業を推進。										
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--